

JANIS レンタルサーバー

【ご利用ガイド】

プレミアムコース用



株式会社 長野県協同電算

2026 年 7 月 14 日

目次

1. はじめに	3
2. コントロールパネル・メニュー画面へのログイン	6
3. サイトの管理	7
3. 1 サイトマネージャーへのログイン	7
3. 2 Web とメールの割当てディスク容量配分設定	9
4. メール管理	11
4. 1 メールユーザの登録	11
4. 2 メールユーザの削除	13
4. 3 メールユーザのメール転送設定	15
5. 迷惑メールフィルタ機能・迷惑メール隔離設定	17
5. 1 迷惑メールフィルタ機能	17
5. 2 迷惑メール隔離設定	19
6. ホワイトリスト/ブラックリスト機能	22
6. 1 ホワイトリスト	22
6. 2 ブラックリスト	23
6. 3 ホワイトリスト・ブラックリスト登録方法	23
7. Web メール管理	25
7. 1 Web メールへのログイン	25
8. データベース管理	28
8. 1 DB 管理ツール (phpMyAdmin) へのログイン	28
8. 2 DB 管理ツールの各メニュー・テーブル管理	30
8. 3 DB 管理ツールのテーブル管理	31
8. 4 データのエクスポート	32
8. 5 データのインポート	43
8. 6 パスワード変更	44
9. FTP ソフトを用いたファイル転送設定方法	45
10. Web マネージャー	49
11. メールマネージャー	51

1. はじめに

本書は、JANIS レンタルサーバーをご利用するお客さまのためのご利用ガイドです。

コントロールパネルを用いて行う主なサーバ管理の内容について記述します。

JANIS レンタルサーバーでは用途や目的に応じた 3 種類のコントロールパネルを用意しています。

サイトマネージャー

管理者(admin)が、サービス全体の管理を行う管理ツールです。

アクセス権限	管理者(admin)のみ
アクセス方法	ブラウザで次のアドレスを開き、メニューから「サイトマネージャー」を選択しログイン http://お客さまのドメイン名または IP アドレス:8080/ ※
ログイン	アカウント名 : admin パスワード : 管理者(admin)用パスワード
設定・確認できる内容	・サイト管理 ・メール管理 ・Web/FTP 管理

メールマネージャー

管理者(admin)がメールユーザを登録した後、メールユーザが各自メールアドレスのパスワード変更やメール転送の設定などを行う管理ツールです。

アクセス権限	メールユーザ
アクセス方法	ブラウザで次のアドレスを開き、メニューから「メールマネージャー」を選択しログイン http://お客さまのドメイン名または IP アドレス:8080/ ※
ログイン	アカウント名 : メールユーザのアカウント パスワード : メールユーザのパスワード
設定・確認できる内容	・メールユーザのパスワード変更 ・メール転送設定 ・メールのディスク容量確認 ・メールユーザのメール削除

Web マネージャー

管理者(admin)が Web ユーザを登録した後、Web ユーザのパスワード変更やアクセス制限の設定などを行う管理ツールです。

アクセス権限	Web 特権ユーザ、Web ユーザ
アクセス方法	ブラウザで次のアドレスを開き、メニューから「Web マネージャー」を選択しログイン http://お客さまのドメイン名または IP アドレス:8080/ ※
ログイン	アカウント名 : Web ユーザのアカウント パスワード : Web ユーザのパスワード
設定・確認できる内容	・Web ユーザのパスワード変更 ・Web のディスク容量確認 ・Web および FTP のアクセス制限設定

※ お客さまのドメイン名および IP アドレスは、「ご利用案内通知書」をご参照ください。

大切なお知らせ

JANIS レンタルサーバーではお客さまコンテンツやデータベースを含めたバックアップを自動で取得しており、サーバー設備起因による障害が発生した場合、このバックアップを用いて復旧対応を実施します。

一方でこのバックアップは設備起因障害時のサービス復旧を目的としており、お客さまにバックアップデータをご提供することはできません。

また、近年はランサムウェアをはじめとしたサイバー攻撃が高度化しており、外部からの不正アクセスやマルウェア感染により、サーバー上のデータおよびバックアップデータが同時に利用不能となるリスクも指摘されています。

（例：バックアップ領域の暗号化、改ざん、削除など）

こうしたリスクに備えるためには、お客さまご自身による定期的なバックアップ取得（ローカル環境や外部ストレージへの保管）が極めて重要です。

特に、以下のような運用を推奨しております。

- ・CMS 等をご利用の場合は、データベースとファイルの両方をバックアップ
- ・バックアップデータを JANIS レンタルサーバー外部へ保管（外付け HDD やファイルサーバー等）

本ご利用ガイドの以下のページにデータ保存方法を記載しております。

【8. データベースの管理】 8. 4 データのエクスポート

【9. FTP ソフトを用いたファイル転送設定方法】

お客さまの大切なデータを確実に保護するために定期的なバックアップ取得を実施いただき、ご不明点やバックアップ方法に関するご相談がございましたらお気軽にお問い合わせください。

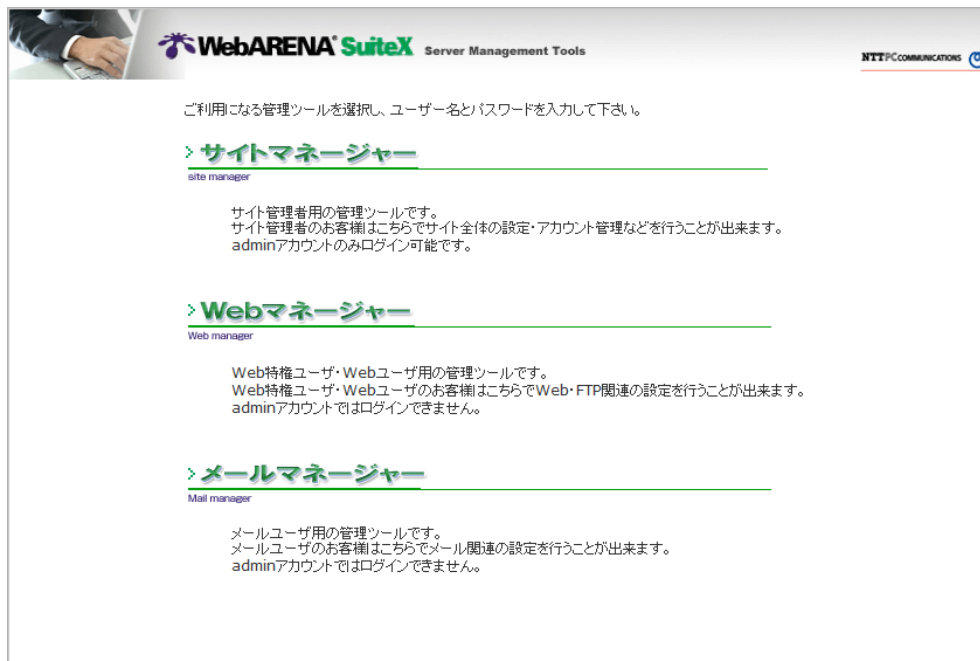
2. コントロールパネル・メニュー画面へのログイン

- ① Web ブラウザより以下の URL へアクセスします。

http://お客さまドメイン名または IP アドレス:8080/

※ お客さまのドメイン名および IP アドレスは、「ご利用案内通知書」をご参照ください。

- ② お客さまがサービスをご利用になるために必要な、設定作業等を行なうためのコントロールパネル・メニュー画面が表示されます。



3. サイトの管理

サイトの管理は、「サイトマネージャー」の「サイト管理」より行うことができます。

主な内容は以下となります。

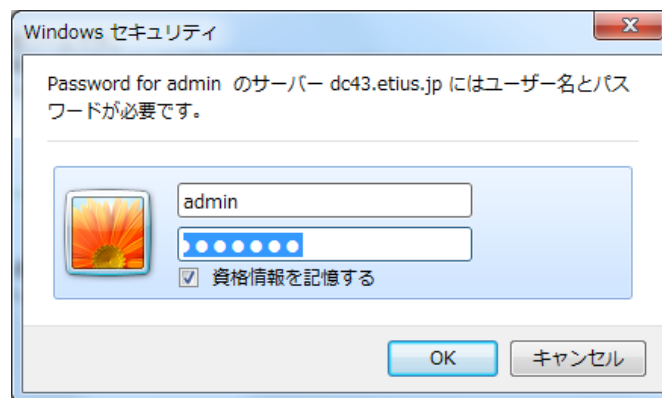
- Web とメールのディスク割当て容量配分の設定

3. 1 サイトマネージャーへのログイン

「サイトマネージャー」へログインします。

■ サイトマネージャーへのログイン

- ① メニューから「**サイトマネージャー**」をクリックします。



- ② 「サイトマネージャー」をクリックすると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の内容を入力してください。

ユーザー名 : admin

パスワード : 管理ツールログインパスワード

※ 管理ツールログインパスワードは、「ご利用案内通知書」をご参照ください。

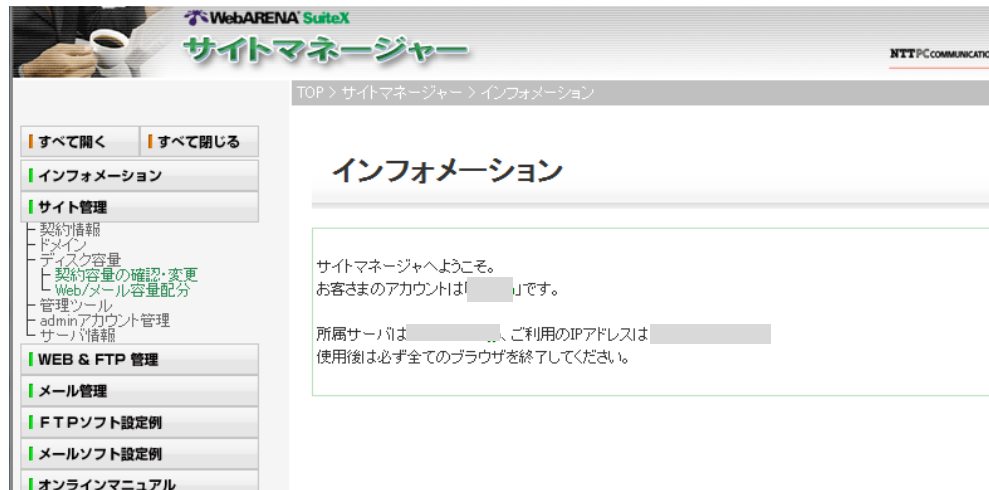
入力後、「OK」をクリックします。

3. 2 Web とメールの割当てディスク容量配分設定

契約ディスク容量の中から Web 用とメール用の 2 つに使用目的を分けて容量を配分します。

■ Web とメールの割当てディスク容量配分設定

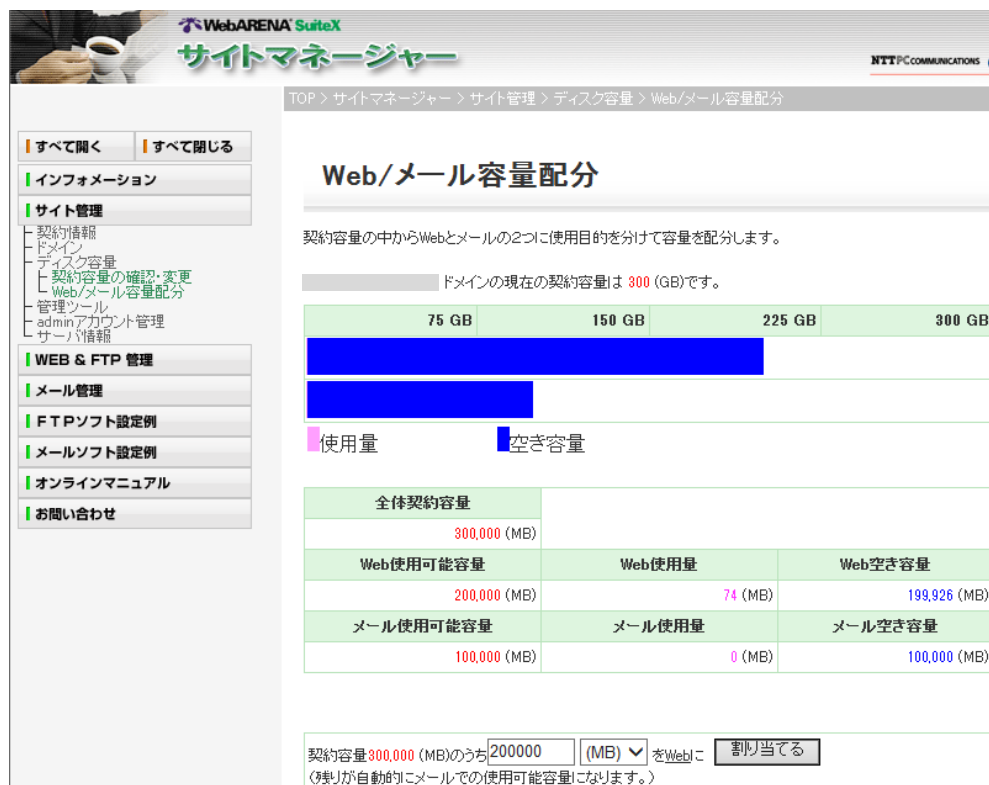
- ① 「サイトマネージャー」の画面左メニューより「サイト管理」→「ディスク容量」→「Web/メール容量配分」を順にクリックします。



- ② Web 用に割り当てるディスク容量を入力してください。

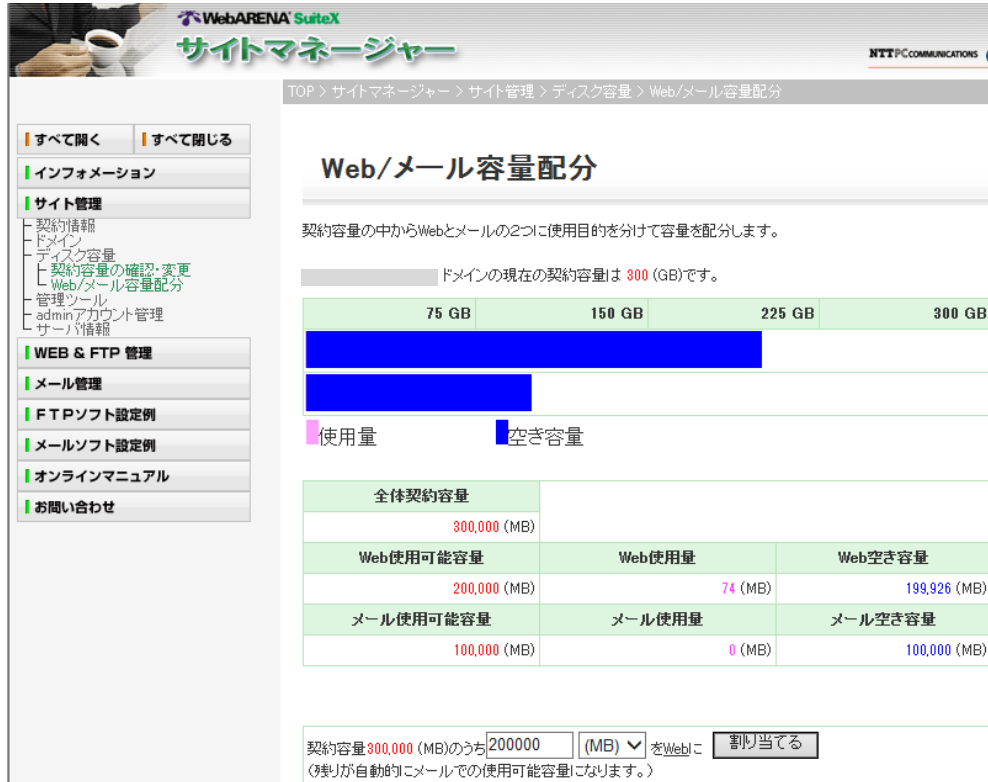
入力後、「割り当てる」をクリックします。

※ 残りの使用可能容量が自動的にメール用として割り当てられます。



■ Web とメールの割当てディスク容量設定

- ③ Web 用およびメール用の割り当てディスク容量が変更されたことを確認します。



WebARENA SuiteX
サイトマネージャー

TOP > サイトマネージャー > サイト管理 > ディスク容量 > Web/メール容量配分

すべて開く | すべて閉じる

インフォメーション

サイト管理

- 契約情報
- ドメイン
- ディスク容量
- 契約容量の確認・変更
- Web/メール容量配分
- 管理ツール
- adminアカウント管理
- サーバー情報

WEB & FTP 管理

メール管理

FTPソフト設定例

メールソフト設定例

オンラインマニュアル

お問い合わせ

Web/メール容量配分

契約容量の中からWebとメールの2つに使用目的を分けて容量を配分します。

ドメインの現在の契約容量は 300 (GB)です。

75 GB	150 GB	225 GB	300 GB
[Bar chart showing usage and available capacity for Web and Mail]			

■ 使用量 ■ 空き容量

全体契約容量		
300,000 (MB)		
Web使用可能容量	Web使用量	Web空き容量
200,000 (MB)	74 (MB)	199,926 (MB)
メール使用可能容量	メール使用量	メール空き容量
100,000 (MB)	0 (MB)	100,000 (MB)

契約容量300,000 (MB)のうち 200000 (MB) をWebに 割り当てる
(残りが自動的にメールでの使用可能容量になります。)

4. メールの管理

メールの管理は、「サイトマネージャー」の「メール管理」より行うことができます。

主な内容は以下となります。

- メールユーザの登録
- メールユーザのパスワード変更
- メールユーザのメール容量制限変更
- メールユーザの削除
- メールユーザの転送設定
- メールのウイルスチェック
- メールユーザの迷惑メール隔離設定
- ホワイトリスト/ブラックリスト

4. 1 メールユーザの登録

メールユーザの登録を行います。

■ メールユーザの登録

- ① 「サイトマネージャー」の画面左メニューより「メール管理」→「メールユーザ管理」→「メールユーザの登録・変更」を順にクリックします。



WebARENA SuiteX
サイトマネージャー
NTT PC COMMUNICATIONS

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの登録・変更

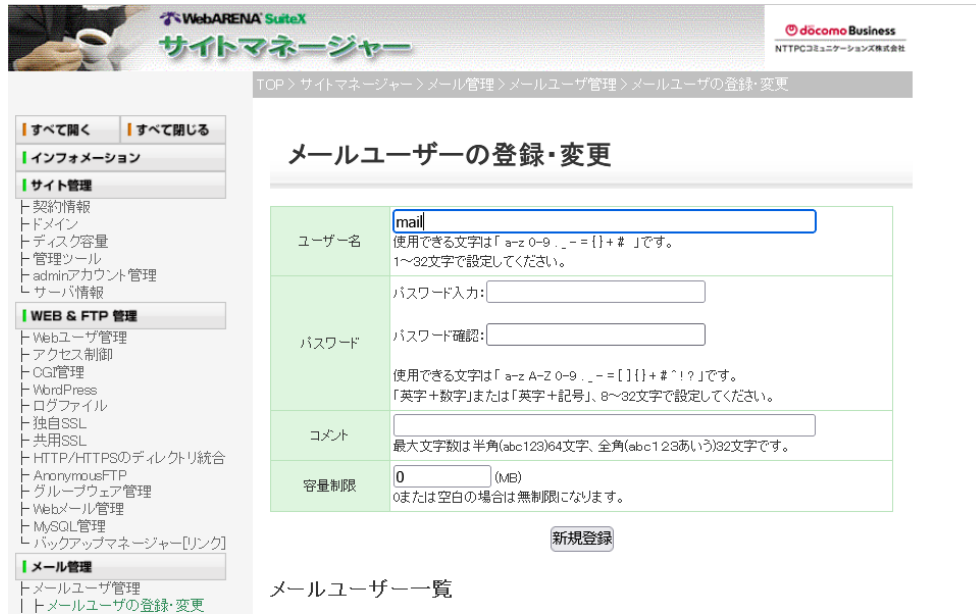
メールユーザの登録・変更

アカウント名	 使用できる文字は「a-z 0-9 . _ = { } + #」です。 1~32文字で設定してください。
パスワード	パスワード入力: パスワード確認: パスワードは「英字 + 数字」もしくは「英字 + 記号」を使用する必要があります。 使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ = [] { } + # ? !」です。 8~32文字で設定してください。
コメント	 最大長は半角(abc123)64文字、全角(abc123あいう)32文字です。
容量制限	0 MB(メガバイト) 0または空白のまま登録した場合、容量制限を行わないユーザとなります。

新規登録

② 新しく作成するメールアカウントの情報を入力してください。

入力後、「**新規登録**」をクリックします。



WebARENA SuiteX
サイトマネージャー

NTT PC Business
NTT PCコミュニケーションズ株式会社

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの登録・変更

メールユーザーの登録・変更

ユーザー名	mail 使用できる文字は「a-z 0-9 _ - = {} + #」です。 1～32文字で設定してください。
パスワード	パスワード入力: パスワード確認: 使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 _ - = {} + # ^ ! ?」です。 「英字 + 数字」または「英字 + 記号」、8～32文字で設定してください。
コメント	 最大文字数は半角(abc123)64文字、全角(abc123あいう)32文字です。
容量制限	0 (MB) 0または空白の場合は無制限になります。

[新規登録](#)

メールユーザー一覧

③ 正常にメールユーザの登録が行われた場合は、以下の画面が表示されます。



WebARENA SuiteX
サイトマネージャー

NTT PC COMMUNICATIONS

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの登録・変更

処理完了

メールユーザ mail さんの新規登録 が成功しました。
続けて処理を行う場合は「戻る」をクリックしてください。

[戻る](#)

※メールアカウント登録時の注意

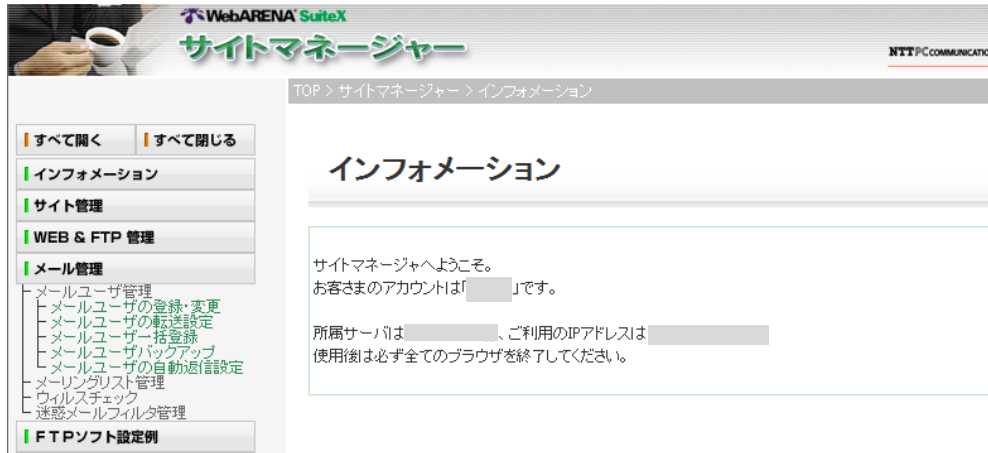
メールアカウント登録時、アカウント名およびパスワードの入力は画面の内容に従って行ってください。
条件を満たしていない場合はエラーとなるため、正しく入力してください。

4. 2 メールユーザの削除

メールユーザの削除を行います。

■ メールユーザの削除

- ① 「サイトマネージャー」の画面左メニューより「メール管理」→「メールユーザ管理」→「メールユーザの登録・変更」を順にクリックします。



WebARENA SuiteX
サイトマネージャー
NTT PC COMMUNICATIONS

TOP > サイトマネージャー > インフォメーション

すべて開く | すべて閉じる

インフォメーション

サイト管理

WEB & FTP 管理

メール管理

- メールユーザ管理
 - メールユーザの登録・変更
 - メールユーザの転送設定
 - メールユーザ一括登録
 - メールユーザバックアップ
 - メールユーザの自動返信設定
- メールリスト管理
- ウイルスチェック
- 迷惑メールフィルタ管理

FTPソフト設定例

インフォメーション

サイトマネージャへようこそ。
お客さまのアカウントIDは「」です。

所属サーバは 、ご利用のIPアドレスは
使用後は必ず全てのブラウザを終了してください。

- ② 削除したいメールユーザの「削除」をクリックします。



WebARENA SuiteX
サイトマネージャー
NTT PC COMMUNICATIONS

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの登録・変更

すべて開く | すべて閉じる

インフォメーション

サイト管理

WEB & FTP 管理

メール管理

- メールユーザ管理
 - メールユーザの登録・変更
 - メールユーザの転送設定
 - メールユーザ一括登録
 - メールユーザバックアップ
 - メールユーザの自動返信設定
- メールリスト管理
- ウイルスチェック
- 迷惑メールフィルタ管理

FTPソフト設定例

メールソフト設定例

オンラインマニュアル

お問い合わせ

メールユーザの登録・変更

アカウント名
使用できる文字列は「a-z 0-9 . _ - = { } + #」です。
1～32文字で設定してください。

パスワード
パスワード確認:
パスワードは「英字 + 数字」もしくは「英字 + 記号」を使用する必要があります。
使用できる文字列は「a-z A-Z 0-9 . _ - = [] { } + # ^ ! ?」です。
8～32文字で設定してください。

コメント
最大長は半角(abc123)64文字、全角(abc123あいう)32文字です。

容量制限 MB(メガバイト)
0または空白のまま登録した場合、容量制限を行わないユーザになります。

新規登録

ユーザー一覧

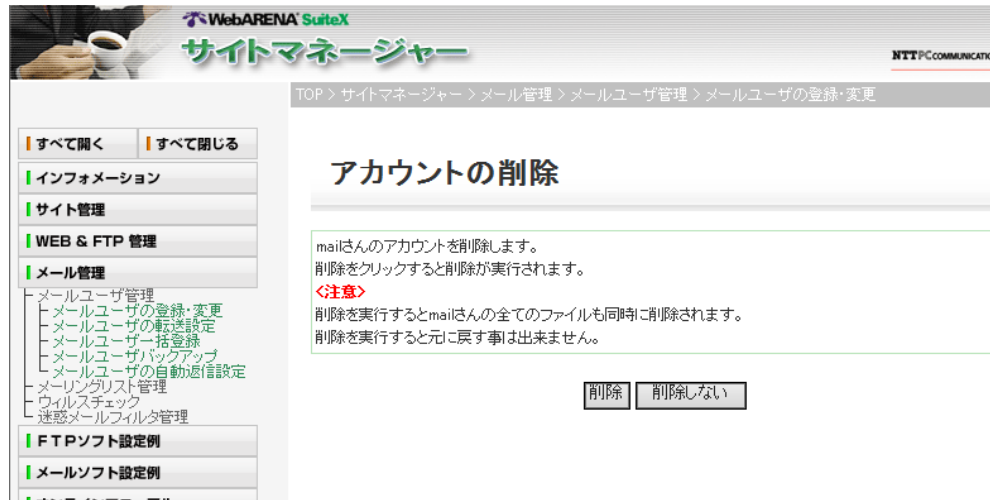
最新の情報に更新

ユーザ	コメント	使用量	容量	各種変更			削除
		0	無制限	コメント	容量	パスワード	削除
mail		0	無制限	コメント	容量	パスワード	削除

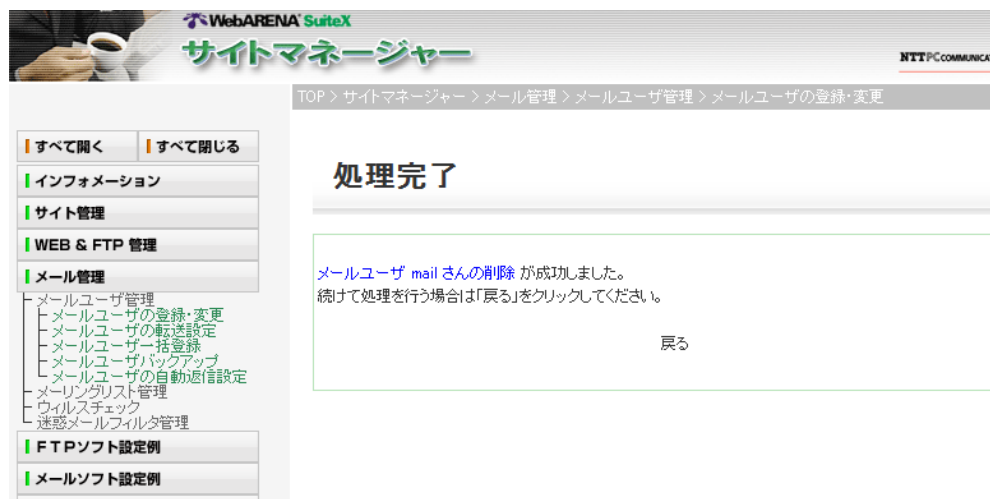
■ メールユーザの削除

- ③ 確認画面が表示されるので、「**削除**」をクリックします。

※ メールアカウントの削除を行う際は、画面の＜注意＞をお読みください。



- ④ 正常にメールユーザの削除が行われた場合は、以下の画面が表示されます。

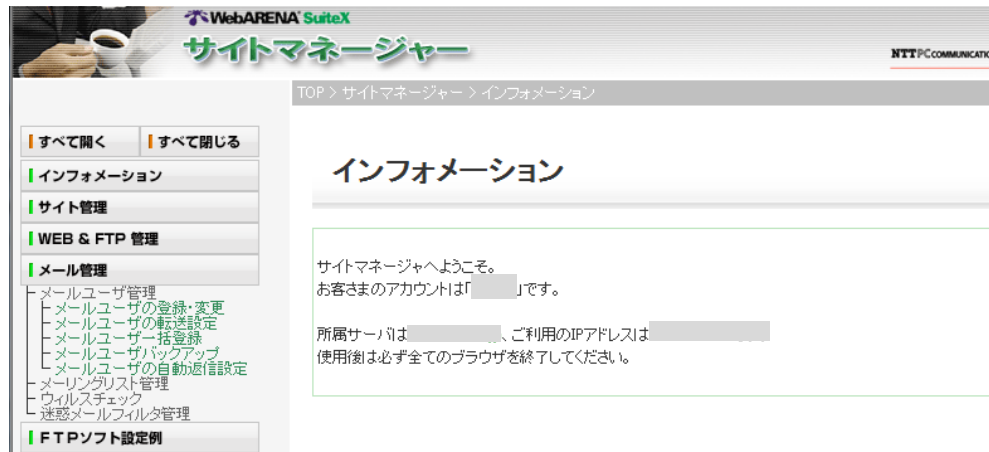


4. 3 メールユーザのメール転送設定

メールユーザ宛てのメールを他のメールユーザ宛てに転送します。

■ メールユーザのメール転送設定

- ① 「**サイトマネージャー**」の画面左メニューより「**メール管理**」→「**メールユーザ管理**」→「**メールの転送設定**」を順にクリックします。



- ② 設定したいメールユーザの「**転送設定変更**」をクリックします。



③ 転送先を入力してください。

入力後、「**転送設定を行う**」をクリックします。

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの転送設定

メールの転送設定

mail アカウントのメールの転送設定を行ないます。

転送先1	
転送先2	
転送先3	
転送先4	
転送先5	
転送先6	
転送先7	
転送先8	
転送先9	
転送先10	

☒ メールを転送した後 のメールアドレスにもメールを残す。

■ メールユーザのメール転送設定

④ 正常に設定が行われた場合は、以下の画面が表示されます。

WebARENA SuiteX
サイトマネージャー
NTT PC COMMUNICATION

TOP > サイトマネージャー > メール管理 > メールユーザ管理 > メールユーザの転送設定

処理完了

ユーザ mail さんの転送設定 が成功しました。
続けて処理を行う場合は「戻る」をクリックしてください。

[戻る](#)

5. 迷惑メールフィルタ機能・迷惑メール隔離設定

迷惑メールフィルタ機能は、受信したメールに対して迷惑メールであるかをチェックし判定する機能です。ご利用中のメールアドレス宛に配送されるメールに対して迷惑メールのチェックを行います。

迷惑メール隔離設定は、迷惑メールフィルタで迷惑メールと判定したメールをメールボックスの「MEIWAKU」フォルダに自動的に振り分ける機能です。隔離されたメールは、サーバー上にあるメールボックスの「MEIWAKU」フォルダに一定期間(14 日)保存され、自動削除されます。

5. 1 迷惑メールフィルタ機能

登録されているメールアドレス宛に配送されるメールに対して、迷惑メールのチェックを行います。

迷惑メールと判定されたメールについては、件名に任意の文字列を付与したり、特定のメールフォルダへ自動的に隔離し自動削除させることができます。

「**サイトマネージャー**」の画面左メニューより「**メール管理**」→「**迷惑メールフィルタ管理**」→

「**迷惑メールフィルタ ON-OFF**」を順にクリックします。



TOP > サイトマネージャー > インフォメーション

インフォメーション

サイトマネージャーへようこそ。
お客さまのユーザー名は「 」です。

所属サーバーは「 」、ご利用のIPアドレスは「 」です。
使用後は必ずすべてのブラウザを終了してください。

重要
「admin」アカウント(admin@お客さまドメイン)にはWebARENA から重要なお知らせ/システム通知が送信されます。これらを受信できない場合、サービスのご利用に支障が出るおそれがございます。運用上重要なため、必ず受信可能な状態にしてください。

あわせて、日常的にご利用されるメールアドレスへの転送設定を推奨しております。転送設定は、転送先アドレスの入力のみで数分で完了します。

・メールの転送設定

■ 主な通知(例)

- ・サーバー利用量超過による制限通知
- ・パスワードハッキング(漏えい)の疑い
- ・メール配送エラー
- ・容量不足に関する警告

初期状態では本機能は「ON」に設定されており、以下の設定値では迷惑メールと判定されたメールについては件名に「SPAM」が追加されます。

迷惑メールフィルター ON-OFF

迷惑メールフィルターはご契約IPアドレス単位で実施されます。
 ここで行う設定は同一契約IPアドレス内のすべてのメールアドレスに適用されます。

現在迷惑メールフィルターは**ON**に設定されています。

設定	☐ ON ヘッダー追加、件名(Subject)への指定文字列追加 なし に設定する。 ☒ ON ヘッダー追加、件名(Subject)への指定文字列追加 あり に設定する。 指定文字列: [SPAM] 使用できる文字は「a-z A-Z 0-9 . _ - = [] { } + # ^ ! ? 」です。 16文字以内で設定してください。 ☐ OFF 迷惑メールフィルターなしに設定する。
----	--

[設定](#) [リセット](#)

【設定の説明】

ON ヘッダー追加、件名(Subject)への指定文字列追加なしに設定する。

すべてのメールのヘッダー行に「X-Spam-Scanthrough」が追加されます。
 受信したメールが迷惑メールと判定された場合は「X-Spam-Flag: yes」がヘッダー行に追加されます。

ON ヘッダー追加、件名(Subject)への指定文字列追加ありに設定する。

上記に加え、件名に任意の文字を付加できます。
 これによりメールの件名(Subject)を見ることで迷惑メールの判別が可能となります。

OFF 迷惑メールフィルターなしに設定する。

迷惑メールフィルタリングを行いません。

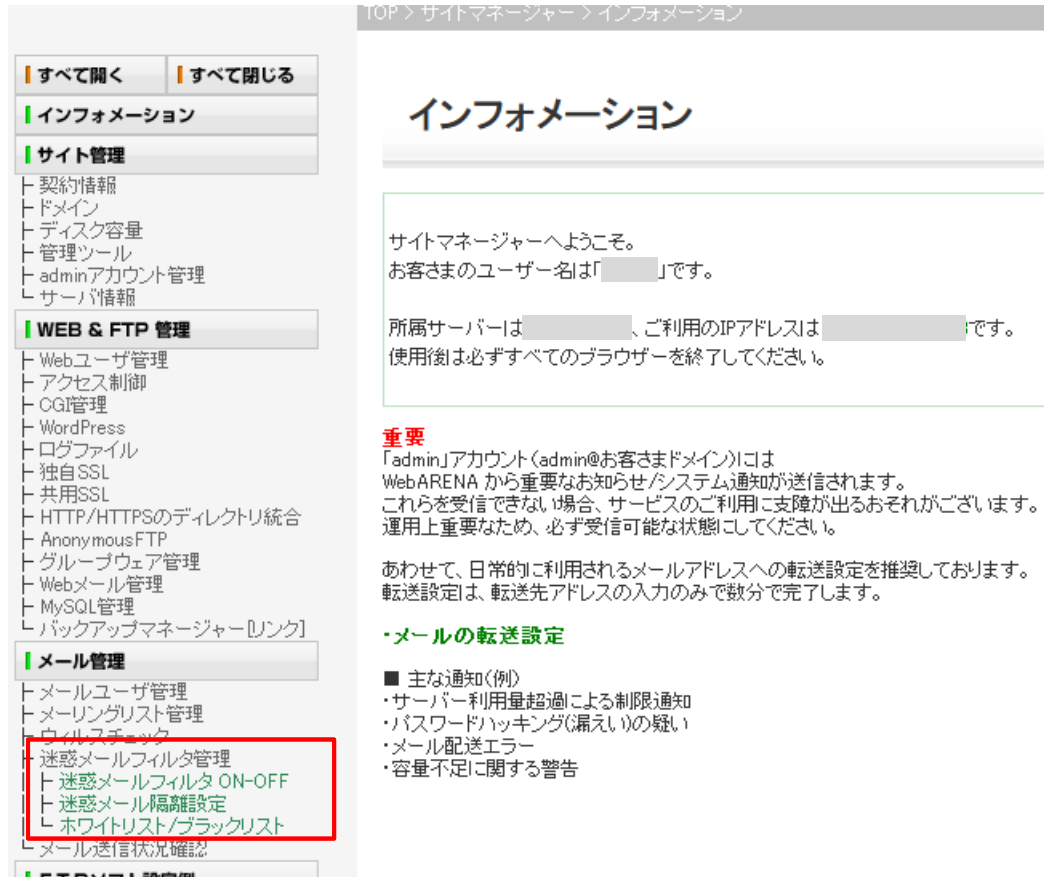
設定名	説明
ON ヘッダ追加、題名(Subject)への指定文字列追加なしに設定する。	ご登録されているメールユーザーに対し、迷惑メールのチェックを行います。
ON ヘッダ追加、題名(Subject)への指定文字列追加ありに設定する。	ご登録されているメールユーザーに対し、迷惑メールのチェックを行います。迷惑メールと判定された場合、件名にお客さまご指定の文字列を付加します。
OFF 迷惑メールチェックなしに設定する。	ご登録されているメールユーザーに対し、迷惑メールのチェックを行いません。

登録されているすべてのメールアドレスに対し適用されます。メールアドレスごとに ON-OFF の設定はできません。

5. 2 迷惑メール隔離設定

迷惑メールフィルタで迷惑メールと判定したメールを特定のメールフォルダへ隔離する機能です。

「**サイトマネージャー**」の画面左メニューより「**メール管理**」→「**迷惑メールフィルタ管理**」→
「**迷惑メール隔離設定**」を順にクリックします。



The screenshot shows the JAVIS Site Manager interface. On the left is a sidebar menu with categories: 'インフォメーション', 'サイト管理', 'WEB & FTP 管理', 'メール管理', and '設定/ログ管理'. Under 'メール管理', '迷惑メールフィルタ管理' is selected, and '迷惑メール隔離設定' is highlighted with a red box. The main content area is titled 'インフォメーション' and contains the following text:

サイトマネージャーへようこそ。
お客さまのユーザー名は「 」です。

所属サーバーは 、ご利用のIPアドレスは です。
使用後は必ずすべてのブラウザを終了してください。

重要
「admin」アカウント(admin@お客さまドメイン)には、WebARENA から重要なお知らせ/システム通知が送信されます。これらを受信できない場合、サービスのご利用に支障が出るおそれがございます。運用上重要なため、必ず受信可能な状態にしてください。

あわせて、日常的にご利用されるメールアドレスへの転送設定を推奨しております。転送設定は、転送先アドレスの入力のみで数分で完了します。

・メールの転送設定

■ 主な通知(例)

- ・サーバー利用量超過による制限通知
- ・パスワードハッキング(漏えい)の疑い
- ・メール配送エラー
- ・容量不足に関する警告

メールユーザーごとの設定画面が表示されます。

「すべて隔離する」「すべて隔離しない」ボタンを選択することで、すべてのメールユーザーの設定を一括で変更することができます。

デフォルト設定は隔離するに設定されています。メールアドレス毎に任意の設定に変更したい場合、隔離する・隔離しないを選択いただき、最後に設定ボタンをクリックしてください。

すべて開く | すべて閉じる

インフォメーション

サイト管理

- ト 契約情報
- ト ドメイン
- ト ディスク容量
- ト 管理ツール
- ト adminアカウント管理
- ト サーバ情報

WEB & FTP 管理

- ト Webユーザ管理
- ト アクセス制御
- ト CGI管理
- ト WordPress
- ト ログファイル
- ト 独自SSL
- ト 共用SSL
- ト HTTP/HTTPSのディレクトリ統合
- ト AnonymousFTP
- ト グループウェア管理
- ト Webメール管理
- ト MySQL管理
- ト バックアップマネージャー[リンク]

メール管理

- ト メールユーザ管理
- ト メールングリスト管理
- ト ウィルスチェック
- ト 迷惑メールフィルタ管理
- ト 迷惑メールフィルタ ON-OFF
- ト 迷惑メール隔離設定
- ト ホワイトリスト/ブラックリスト
- ト メール送信状況確認

FTPソフト設定例

メールソフト設定例

オンラインマニュアル

お問い合わせ

迷惑メール隔離設定

迷惑メールフィルタで迷惑メールと判定したメールを隔離する設定です。
隔離されたメールは、メールボックスの **MEIWAKU** フォルダに一定期間(**14日**)保存されます。
迷惑メールフィルタがONの場合のみ有効です。

※隔離設定注意事項

- ・隔離されたメールは**一定期間(14日)後に自動削除**されます。
- ・メールが隔離された場合、自動返信およびメール転送は行われません。
- ・メールングリスト宛ての迷惑メールは隔離できません。
- ・隔離され、**MEIWAKU**フォルダに保存されたメールは、**POP3経由では取得できません**。
WEBメールまたは、IMAP4経由で取得してください。
- ・必要なメールが迷惑メールと判定され、隔離される可能性がございます。

▼ユーザー名	▼設定
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない
	☒ 隔離する ☐ 隔離しない

設定内容を確認する画面が表示されます。問題ないことを確認し「変更」ボタンをクリックしてください。

迷惑メール隔離設定

下記の内容で設定いたします。よろしければ、「変更」をクリックしてください。

ユーザー名	現在の設定	変更後の設定
	隔離する	隔離しない

- ・隔離されたメールは**一定期間(14日)後に自動削除**されます。
- ・メールが隔離された場合、自動返信およびメール転送は行われません。
- ・メールリングリスト宛ての迷惑メールは隔離できません。
- ・隔離され、**MEIWAKU**フォルダーに保存されたメールは、**POP3経由では取得できません**。
WEBメールまたは、IMAP4経由で取得してください。
- ・必要なメールが迷惑メールと判定され、隔離される可能性があります。

変更

隔離設定の変更が実行されます。

ユーザーごとに順次設定が行われますので、下のような設定完了の表示がされるまで操作はせずお待ちください。

迷惑メール隔離設定

迷惑メールの隔離設定を開始します。

戻る

.. 処理が完了しました ..

※処理件数により、結果の表示に時間がかかる可能性があります。

- 隔離する設定
- 隔離しない設定
- > 成功

<< 設定が完了しました >>

6. ホワイトリスト/ブラックリスト機能

迷惑メールフィルタをご利用お客さまは任意のホワイトリスト、ブラックリスト機能を利用する事が可能です。

6. 1 ホワイトリスト

メールアドレス、IP アドレス単位でホワイトリストへ登録する事が可能です。

登録された送信元から送信されたメールは、迷惑メールフィルタによる判定を問わず、「迷惑メールではない」と判定します。

この機能を利用する事で、正当な送信元からのメールが迷惑メールと誤判定されることを防いだり、重要なメールが届いていることに気づかない、といったリスクを回避することができます。

初期設定では、お客さまのご利用ドメインがホワイトリストに登録されています。この設定により、お客さまご利用のドメインからのメールが誤判定されるリスクを回避します。

ホワイトリストとブラックリストとは、ホワイトリストの設定の方が優先されます。

ホワイトリスト/ブラックリスト

迷惑メールフィルタに対し、ホワイトリスト、ブラックリストを設定します。
 詳しい仕様や設定例につきましては、[オンラインマニュアル](#)をご確認ください。

設定方法

- ・メールアドレス、IPアドレス単位で設定します。
- ・メールアドレスは、ワイルドカード「*」をご利用になれます。また、「*@ドメイン名」の形式で記述することにより、ドメイン単位で設定することができます。
 例：*@example.com
- ・IPアドレスは、単体のIPアドレスあるいはネットワーク単位の形式で指定できます。
 例：111.222.333.444、111.222.0.0/24
- ・複数登録する場合は改行区切りで登録します。
- ・1行につき256文字まで入力でき、最大100行まで登録できます。

ホワイトリスト

登録されたメールアドレス、ドメイン、IPアドレスから送信されたメールが、迷惑メール判定から除外されます。

送信 元 メー ル ア ド レ ス	
送信 元 IP ア ド レ ス	

6. 2 ブラックリスト

メールアドレス、IP アドレス単位で指定することができます。

登録された送信元から送信されたメールは、迷惑メールフィルタによる判定を問わず、「迷惑メール」と判定します。

ブラックリスト

登録されたメールアドレス、ドメイン、IPアドレスから送信されたメールが迷惑メール判定されます。

送信 元 メー ル ア ド レ ス	
送信 元 IP ア ド レ ス	

確認

6. 3 ホワイトリスト・ブラックリスト登録方法

ホワイトリスト・ブラックリストの登録方法につきましては、登録したいメールアドレス、IP アドレスを入力いただき、確認ボタンをクリックいただきますと確認画面が表示されます。設定内容に問題がなければ設定ボタンをクリックします。

ホワイトリスト/ブラックリスト

以下内容でホワイトリスト/ブラックリストを設定します。

ホワイトリスト

送信元メールアドレス	
送信元IPアドレス	

ブラックリスト

送信元メールアドレス	追加するメールアドレス: @example.jp
送信元IPアドレス	

設定

戻る

正常に設定が行われた場合は、以下の画面が表示されます。

処理完了

迷惑メールホワイトリスト/ブラックリストの設定が成功しました。
続けて処理を行う場合は「戻る」をクリックしてください。

[戻る](#)

7. Web メール管理

Web メール管理は、「サイトマネージャー」の「WEB & FTP 管理」より行うことができます。

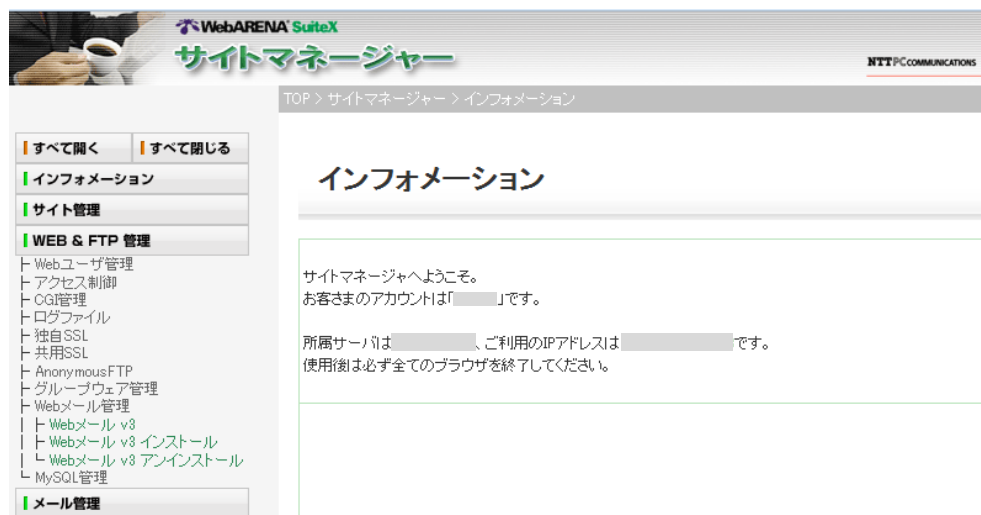
7. 1 Web メールへのログイン

Web メールへのログインが行えます。

■ Web メールへのログイン

- ① 「サイトマネージャー」の画面左メニューより「WEB & FTP 管理」→「Web メール管理」→「Web メール v3」を順にクリックします。

※「Web メール v3」をご利用される場合は、先に「Web メール v3 インストール」を行ってください。



- ② ログインしたいメールユーザの右側に表示される URL をクリックします。



- ③ ログイン ID とパスワードの入力を求められますので、以下の内容を入力してください。

ログイン ID : メールユーザのメールアドレス

パスワード : メールユーザのパスワード

入力後、「ログイン」をクリックします。



The image shows the login interface for Denbun Group Mail. It features a blue header with the 'Denbun Group Mail' logo. Below the logo are three input fields: 'ログインID' (Login ID), 'パスワード' (Password), and a language dropdown menu currently set to '日本語' (Japanese). There is a checkbox labeled 'このログイン情報をブラウザに保存する' (Save this login information to the browser) and a 'ログイン' (Login) button at the bottom.

■ Web メールへのログイン

- ④ ログイン情報確認画面で、「**新規登録**」をクリックします。

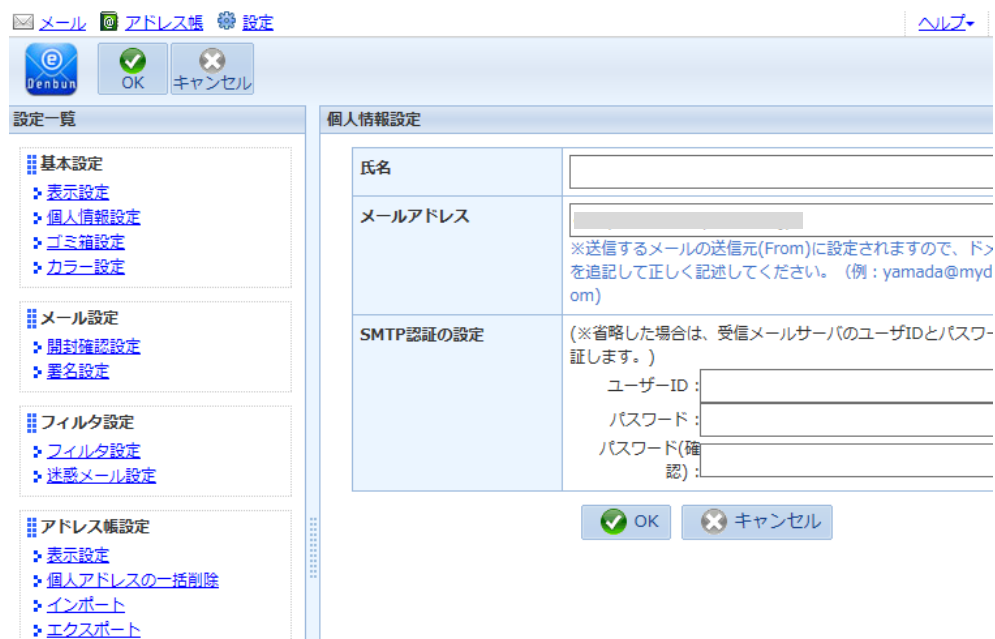
※ 初回ログイン時のみ表示されます。



The image shows a dialog box titled 'ログイン情報確認' (Login Information Confirmation). The text inside asks: 'ユーザー情報が未登録です。新規に登録しますか？' (User information is not registered. Do you want to register a new one?). It provides instructions: '初めてログインする場合は、「新規登録」ボタンを、ログインIDを変更したい場合は、「ログインIDの変更」ボタンを押下してください。' (If logging in for the first time, click the 'New Registration' button. If you want to change the login ID, click the 'Change Login ID' button). At the bottom are three buttons: '新規登録' (New Registration), 'ログインIDの変更' (Change Login ID), and 'キャンセル' (Cancel). There is also a checkbox at the very bottom: 'このログイン情報をブラウザに保存する'.

- ⑤ 画面の表示内容を確認し、「**OK**」をクリックします。

※ 初回ログイン時のみ表示されます。

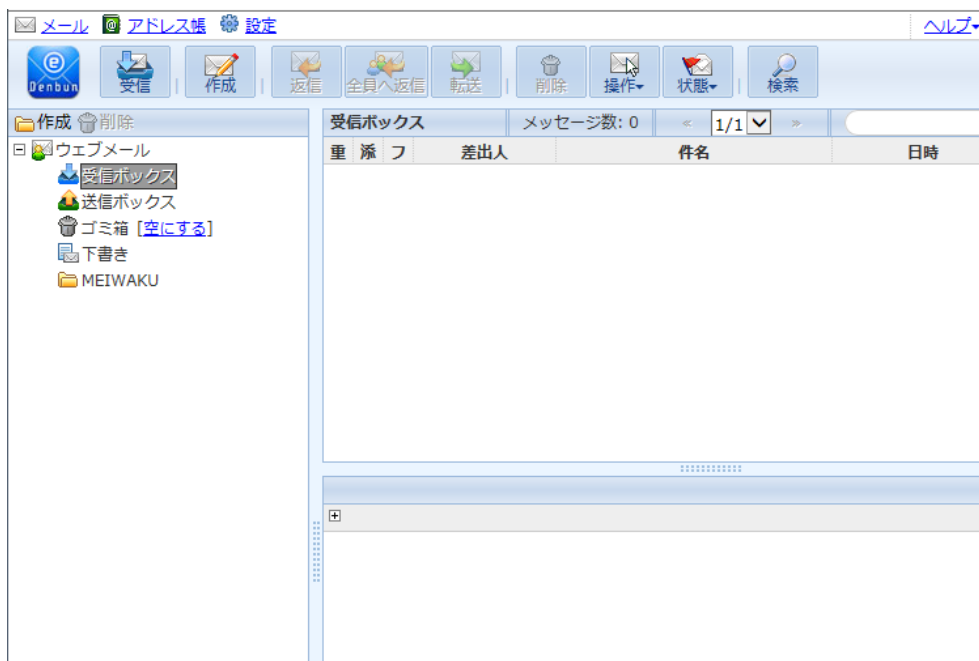


The image shows the '設定一覧' (Settings List) screen in a webmail interface. At the top, there are tabs for 'メール' (Mail), 'アドレス帳' (Address Book), and '設定' (Settings), with '設定' being the active tab. Below the tabs are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The main area is divided into two columns. The left column, titled '設定一覧', contains a list of settings categories: '基本設定' (Basic Settings), 'メール設定' (Mail Settings), 'フィルタ設定' (Filter Settings), and 'アドレス帳設定' (Address Book Settings). Each category has sub-links like '表示設定' (Display Settings), '個人情報設定' (Personal Information Settings), 'ゴミ箱設定' (Trash Settings), 'カラー設定' (Color Settings), '開封確認設定' (Open Confirmation Settings), '署名設定' (Signature Settings), 'フィルタ設定' (Filter Settings), '迷惑メール設定' (Spam Mail Settings), '表示設定' (Display Settings), '個人アドレスの一括削除' (Bulk Delete Personal Addresses), 'インポート' (Import), and 'エクスポート' (Export). The right column, titled '個人情報設定' (Personal Information Settings), contains fields for '氏名' (Name), 'メールアドレス' (Email Address), and 'SMTP認証の設定' (SMTP Authentication Settings). The 'メールアドレス' field has a note: '※送信するメールの送信元(From)に設定されますので、ド>を適正に記述してください。(例: yamada@mydomain.com)'. The 'SMTP認証の設定' section has a note: '(※省略した場合は、受信メールサーバのユーザIDとパスワードを指定します。)' and fields for 'ユーザーID' (User ID), 'パスワード' (Password), and 'パスワード(確認)' (Password (Confirmation)). At the bottom right are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

- ⑥ 上段メニューの「メール」をクリックします。



- ⑦ Web メール画面が表示されます。



8. データベースの管理

データベースの管理は、「サイトマネージャー」の「WEB & FTP 管理」より行うことができます。

8. 1 DB 管理ツール/phpMyAdmin)へのログイン

DB 管理ツールへのログインが行えます。

■ DB 管理ツールへのログイン

- ① 「サイトマネージャー」の画面左メニューより「WEB & FTP 管理」→「MySQL 管理」→「MySQL の ON-OFF」を順にクリックします。



- ② 「phpMyAdmin を開く」をクリックします。



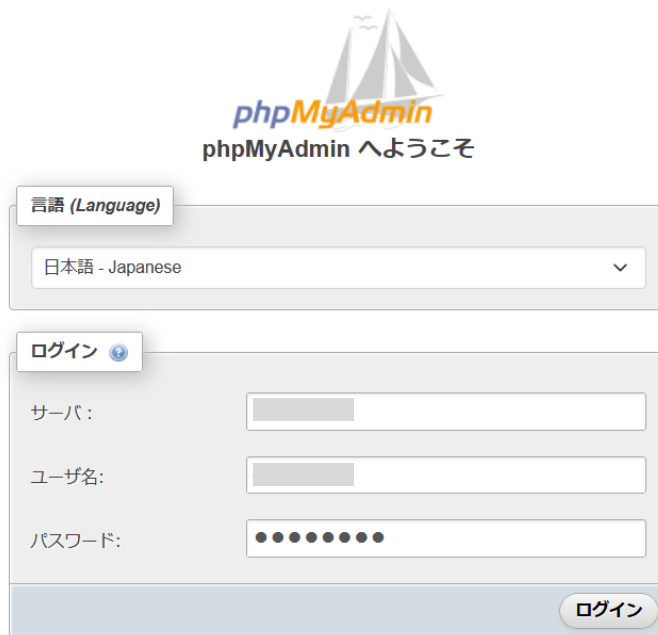
■ DB 管理ツールへのログイン

③ ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の内容を入力してください。

サーバー： localhost
 ユーザー名： データベース管理ページログインユーザ名
 パスワード： データベース管理ページログインパスワード

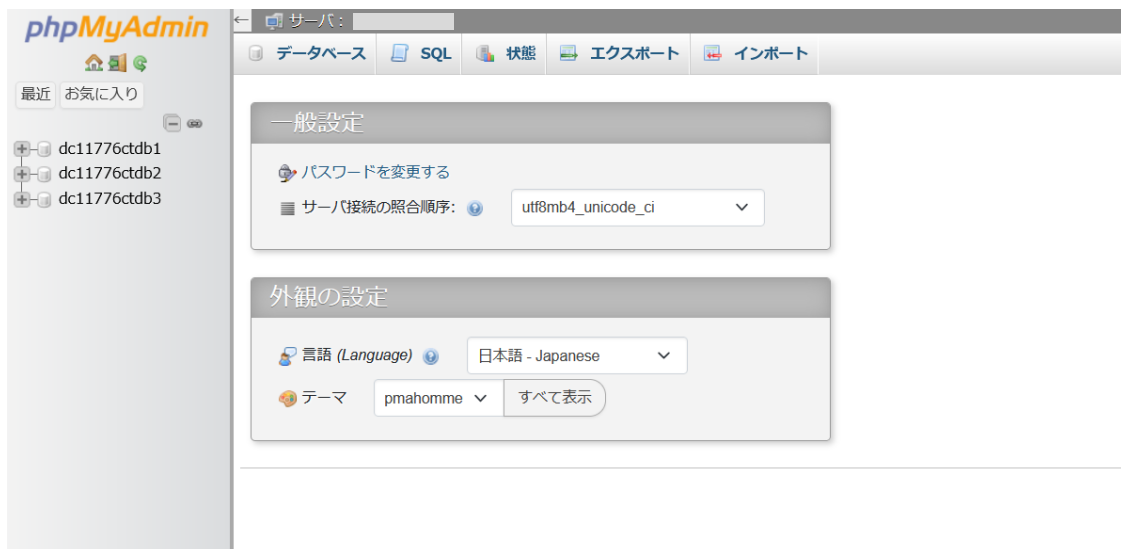
※ データベース管理ページログインユーザ名とデータベース管理ページログインパスワードは、
 「ご利用案内通知書」をご参照ください。

入力後、「実行する」をクリックします。



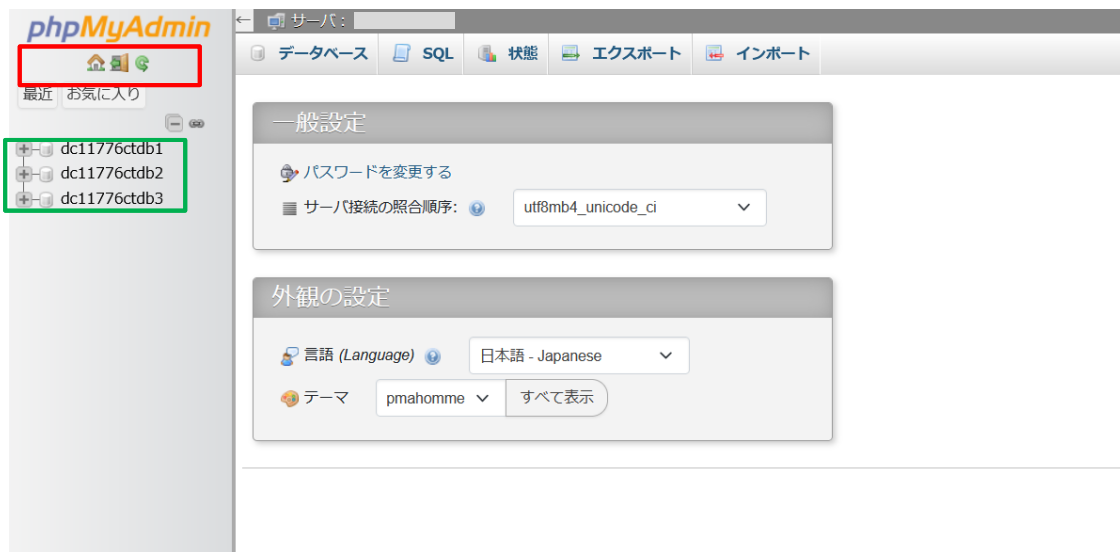
The image shows the phpMyAdmin login interface. At the top, there is a logo for phpMyAdmin and the text "phpMyAdmin へようこそ". Below this, there is a section for "言語 (Language)" with a dropdown menu set to "日本語 - Japanese". Underneath is a "ログイン" (Login) section with three input fields: "サーバ:" (Server), "ユーザ名:" (Username), and "パスワード:" (Password). The password field is masked with dots. A "ログイン" button is located at the bottom right of the login section.

④ DB 管理ツール画面が表示されます。



The image shows the main interface of phpMyAdmin. On the left, there is a sidebar with the phpMyAdmin logo, a home icon, and a list of databases: "最近" (Recent) and "お気に入り" (Favorites). Below this, there are three database entries: "dc11776ctdb1", "dc11776ctdb2", and "dc11776ctdb3". The main area displays the "データベース" (Database) tab. It has a top navigation bar with "データベース", "SQL", "状態" (Status), "エクスポート" (Export), and "インポート" (Import). Below this, there are two sections: "一般設定" (General Settings) and "外観の設定" (Appearance Settings). The "一般設定" section includes a "パスワードを変更する" (Change Password) link and a "サーバ接続の照合順序" (Server connection collation) dropdown set to "utf8mb4_unicode_ci". The "外観の設定" section includes a "言語 (Language)" dropdown set to "日本語 - Japanese" and a "テーマ" (Theme) dropdown set to "pmahomme", with a "すべて表示" (Show All) button.

8. 2 DB 管理ツールの各メニュー・テーブル管理



■ 赤枠内

メインページへ phpMyAdmin のメインページへ戻ります

ログアウト DB 管理ツールをログアウトします。

■ 緑枠内

管理ツール「MySQL 5 マネージャー」で設定されたデータベース名が表示されます。

各データベース内のデータの確認や変更などを行いたい場合には、ここからデータベースを選択し、操作画面に移動します。

8. 3 DB 管理ツールのテーブル管理

データベース名を選択し、操作したいテーブル名を選択します。

ここでテーブルの作成、既に存在しているテーブルの削除、テーブル内のデータの追加、及びデータのインポートやエクスポートなどを行う事ができます。



タブ上の各項目の主な機能は以下の通りです。

構造：フィールドの設定の編集

SQL：SQL 文を使ってデータベース内の情報を更新・変更する

検索：保存したデータを検索

挿入：データを挿入する

エクスポート：保存したデータをバックアップする

インポート：バックアップしたデータを取り込む

操作：テーブル名を変更したり、保存したデータの表示順を設定

空にする：保存したデータのみを全て削除

削除：テーブルを削除

8. 4 データのエクスポート

データベース単位でのエクスポート

トップページから「エクスポート」のタブをクリックします。



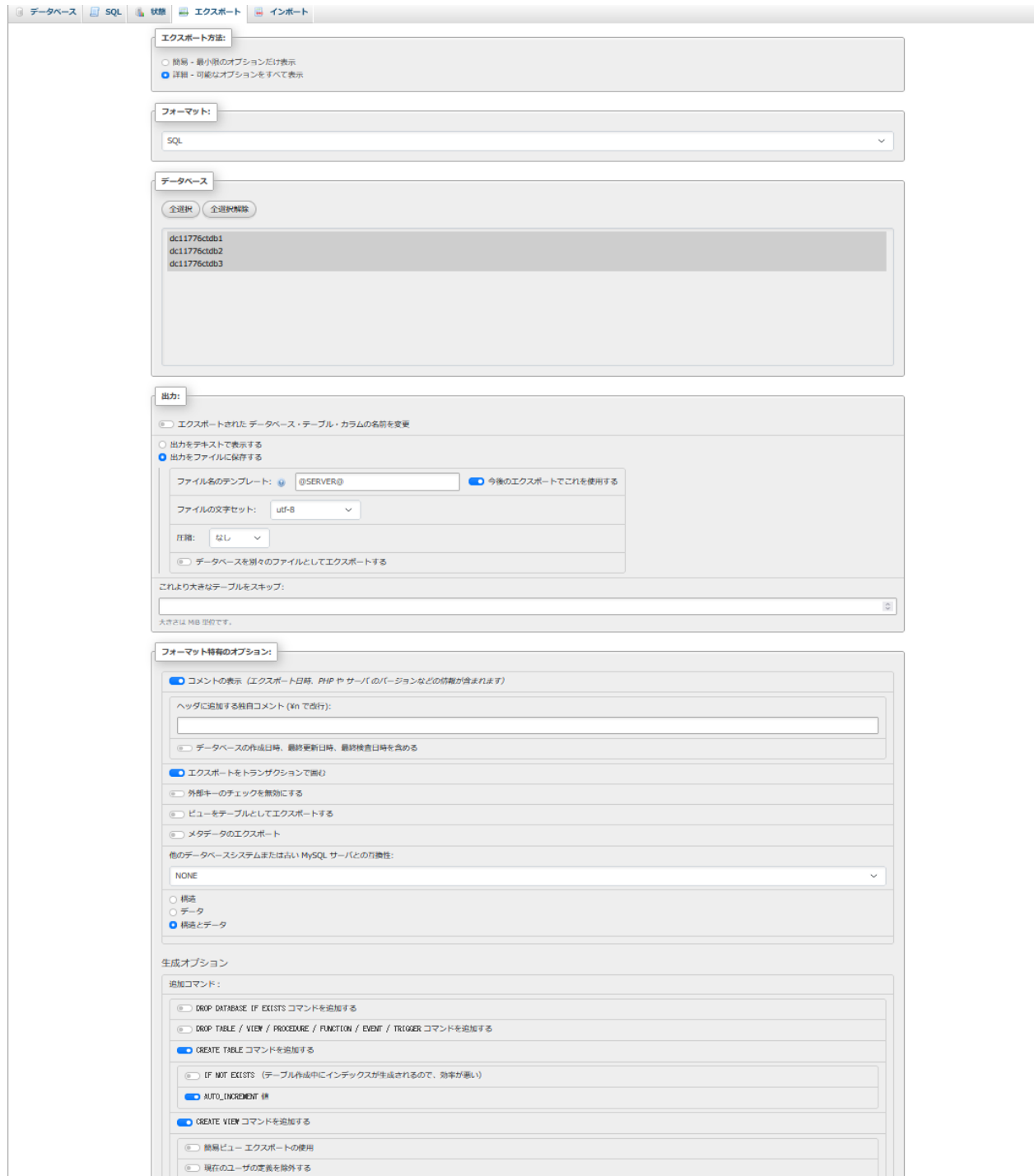
エクスポート方法で「詳細」を選択し、エクスポートする際の詳細な設定画面を表示します。



エクスポート方法で「詳細」を選択するとエクスポートする際の詳細な設定画面が表示されます。

- ・エクスポートするデータベースの選択
- ・出力方法の選択
- ・フォーマット特有のオプション エクスポートデータ生成時のオプション

エクスポート方法で「詳細」を選択した画面 -参考例-



The screenshot shows the 'Export Method' (エクスポート方法) settings in JAVIS. The 'Detailed' (詳細) option is selected under 'Export Method' (エクスポート方法). The 'Format' (フォーマット) is set to 'SQL'. Under 'Database' (データベース), three databases are listed: 'dc11776ctdb1', 'dc11776ctdb2', and 'dc11776ctdb3'. The 'Output' (出力) section shows options for outputting to a file or text, with 'Output to file' (出力をファイルに保存する) selected. The 'File name template' (ファイル名のテンプレート) is set to '@SERVER@'. The 'File character set' (ファイルの文字セット) is set to 'utf-8'. The 'Export format options' (フォーマット特有のオプション) section includes checkboxes for 'Show comments' (コメントの表示), 'Export as transaction' (エクスポートをトランザクションで実行), 'Ignore foreign key checks' (外部キーのチェックを無効にする), 'Export as view' (ビューをテーブルとしてエクスポートする), and 'Export metadata' (メタデータのエクスポート). The 'Generation options' (生成オプション) section includes checkboxes for 'Drop database if exists' (DROP DATABASE IF EXISTS), 'Drop table/view/procedure/function/event/trigger if exists' (DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT / TRIGGER), 'Create table if not exists' (CREATE TABLE IF NOT EXISTS), 'Auto-increment' (AUTO_INCREMENT), 'Create view' (CREATE VIEW), 'Use temporary view' (一時ビューの使用), and 'Exclude current user's definition' (現在のユーザの定義を除外する).

■データベース

エクスポートを実施したい選択中のデータベースは黒マーカーで表示され、デフォルトはデータベースを全てエクスポートする状態となっております。

個別にエクスポートしたいデータベースを指定したい場合、1度全選択解除を実施いただいた後に対象のデータベースをクリックする事で個別選択が可能です。

エクスポート方法:

☐ 簡易 - 最小限のオプションだけ表示
 ☒ 詳細 - 可能なオプションをすべて表示

フォーマット:

SQL

データベース

全選択

全選択解除

dc11776ctdb1

dc11776ctdb2

dc11776ctdb3

■出力

エクスポートする際のファイル名や文字コード等を指定する事が可能です。

出力:

☐ エクスポートされた データベース・テーブル・カラムの名前を変更
 ☐ 出力をテキストで表示する
 ☒ 出力をファイルに保存する

ファイル名のテンプレート:

@SERVER@

今後のエクスポートでこれを使用する

ファイルの文字セット:

utf-8

圧縮:

なし

☐ データベースを別々のファイルとしてエクスポートする

これより大きなテーブルをスキップ:

大きさは MiB 単位です。

■フォーマット特有のオプション

オプションのデフォルトは以下の通りです。

「DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT / TRIGGER コマンドを追加する」が、デフォルト設定：OFF となっております。このままエクスポートしてしまいますと、インポートした際にエラーしてしまうため、ON にご変更いただきエクスポートいただきますようお願いいたします。

フォーマット特有のオプション:

☒ コメントの表示 (エクスポート日時、PHP や サーバ のバージョンなどの情報が含まれます)

ヘッダに追加する独自コメント (¥n で改行):

☐ データベースの作成日時、最終更新日時、最終検査日時を含める

☒ エクスポートをトランザクションで囲む

☐ 外部キーのチェックを無効にする

☐ ビューをテーブルとしてエクスポートする

☐ メタデータのエクスポート

他のデータベースシステムまたは古い MySQL サーバとの互換性:

NONE

☐ 構造

☐ データ

☒ 構造とデータ

生成オプション

追加コマンド:

☐ DROP DATABASE IF EXISTS コマンドを追加する

☒ DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT / TRIGGER コマンドを追加する **ON に変更する**

☒ CREATE TABLE コマンドを追加する

☐ IF NOT EXISTS (テーブル作成中にインデックスが生成されるので、効率が悪い)

☒ AUTO_INCREMENT 値

☒ CREATE VIEW コマンドを追加する

☐ 簡易ビュー エクスポートの使用

☐ 現在のユーザの定義を除外する

☐ OR REPLACE ビュー

☐ CREATE PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する

☒ CREATE TRIGGER コマンドを追加する

☒ 逆クオートでテーブルやカラムの名前を囲む (特殊な文字やキーワードを含むカラム名やテーブル名を保護します)

データ作成オプション

☐ 挿入前にテーブルを空にする

☐ INSERT DELAYED 文

☐ INSERT IGNORE 文

データをダンプするときに使うコマンド:

INSERT

データを挿入するときに使う構文:

☐ すべての INSERT 文にカラム名を含める
例: INSERT INTO tbl_name (col_A,col_B,col_D) VALUES (1,2,3)

☐ すべての INSERT 文を複数行挿入で行う
例: INSERT INTO tbl_name VALUES (1,2,3), (4,5,6), (7,8,9)

☒ 上の両方を行う
例: INSERT INTO tbl_name (col_A,col_B,col_D) VALUES (1,2,3), (4,5,6), (7,8,9)

☐ 上のどちらでもない
例: INSERT INTO tbl_name VALUES (1,2,3)

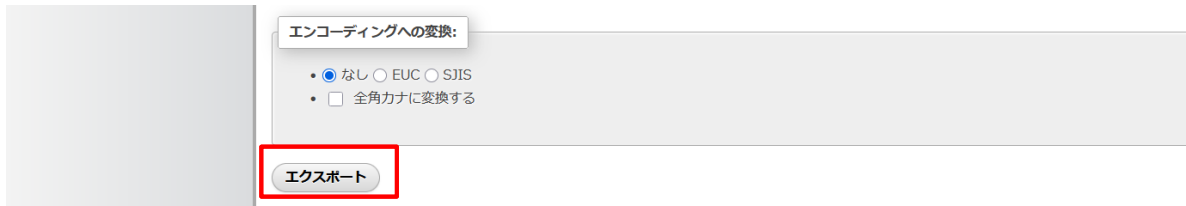
作成するクエリの最大長

50000

☒ 16 進表記でバイナリカラムをダンプする (例: "abc" を 0x616263)

☒ TIMESTAMP のカラムを UTC (協定世界時) でダンプする (ダンプするサーバと読み込ませるサーバのタイムゾーンが異なる場合に有効です)

オプション項目の選択が完了しましたら、エクスポートボタンをクリックいただきますとエクスポートが実行されます。



エンコーディングへの変換:

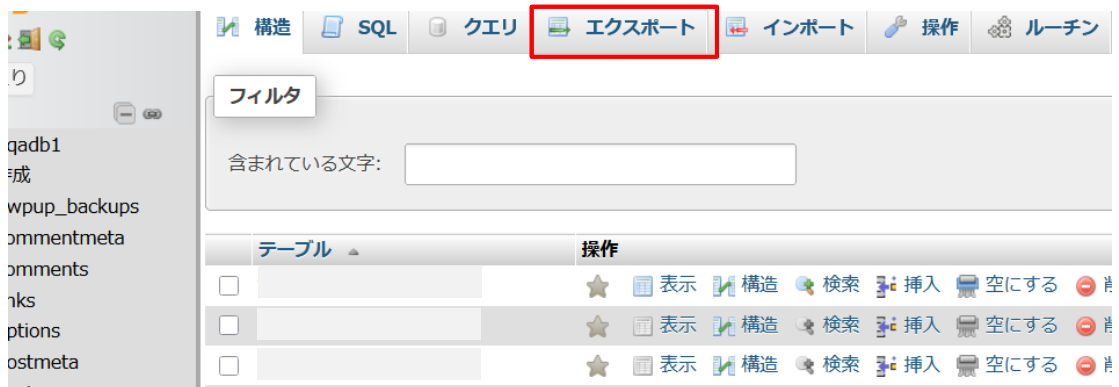
- ☒ なし ☐ EUC ☐ SJIS
- ☐ 全角カナに変換する

エクスポート

テーブル単位でのエクスポート

データベースを選択し、データベース名の下に表示されるテーブル名を選択します。

「エクスポート」のタブをクリックします。



エクスポート方法で「詳細」を選択し、エクスポートする際の詳細な設定画面を表示します。

データベース "dc11776ctdb1" からテーブルをエクスポート



エクスポート方法で「詳細」を選択するとエクスポートする際の詳細な設定画面が表示されます。

- ・エクスポートするデータベースの選択
- ・出力方法の選択
- ・フォーマット特有のオプション エクスポートデータ生成時のオプション

エクスポート方法で「詳細」を選択した画面 -参考例-

エクスポート方法:

☐ 簡易 - 最小限のオプションだけ表示
 ☒ 詳細 - 可能なオプションをすべて表示

フォーマット:

SQL

テーブル:

☒	wplinks	☒	☒
☒	wpoptions	☒	☒
☒	wppostmeta	☒	☒
☒	wpposts	☒	☒
☒	wptermmeta	☒	☒
☒	wpterms	☒	☒
☒	wpterm_relationships	☒	☒
☒	wpterm_taxonomy	☒	☒
☒	wpusermeta	☒	☒

出力:

☐ エクスポートされた データベース・テーブル・カラムの名前を変更
 ☐ 「LOCK TABLES」 コマンドを使用する
 ☐ 出力をテキストで表示する
 ☒ 出力をファイルに保存する

ファイル名のテンプレート:

@DATABASE@

☒ 今後のエクスポートでこれを使用する

ファイルの文字セット:

utf-8

圧縮:

なし

☐ テーブルを別々のファイルとしてエクスポートする

これより大きなテーブルをスキップ:

大きさは MB 単位です。

フォーマット特有のオプション:

☒ コメントの表示 (エクスポート日時、PHP や サーバ のバージョンなどの情報が含まれます)

ヘッダに追加する独自コメント (¥n で改行):

☐ データベースの作成日時、最終更新日時、最終検査日時を含める

☒ エクスポートをトランザクションで囲む
 ☐ 外部キーのチェックを無効にする
 ☐ ビューをテーブルとしてエクスポートする
 ☐ メタデータのエクスポート

他のデータベースシステムまたは古い MySQL サーバとの互換性:

NONE

38

生成オプション

追加コマンド:

☐ CREATE DATABASE / USE コマンドを追加する

☒ DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT / TRIGGER コマンドを追加する

☐ CREATE TABLE コマンドを追加する

☐ IF NOT EXISTS (テーブル作成中にインデックスが生成されるので、効率が悪い)

☒ AUTO_INCREMENT

☒ CREATE VIEW コマンドを追加する

☐ 簡易ビュー エクスポートの使用

☐ 現在のユーザの定義を除外する

☐ OR REPLACE ビュー

☒ CREATE PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する

☒ CREATE TRIGGER コマンドを追加する

☒ 逆クォートでテーブルやカラムの名前を囲む (特殊な文字やキーワードを含むカラム名やテーブル名を保護します)

データ作成オプション

☐ 挿入前にテーブルを空にする

☐ INSERT DELAYED 文

☐ INSERT IGNORE 文

データをダンプするときを使うコマンド:

INSERT

データを読み入るときに使う構文:

☐ すべての INSERT 文にカラム名を含める
例: INSERT INTO tbl_name (col_A, col_B, col_C) VALUES (1, 2, 3)

☐ すべての INSERT 文を複数行挿入で行う
例: INSERT INTO tbl_name VALUES (1, 2, 3), (4, 5, 6), (7, 8, 9)

☒ 上の両方を行う
例: INSERT INTO tbl_name (col_A, col_B, col_C) VALUES (1, 2, 3), (4, 5, 6), (7, 8, 9)

☐ 上のどちらでもない
例: INSERT INTO tbl_name VALUES (1, 2, 3)

作成するクエリの最大長

50000

☒ 16 進表記でバイナリカラムをダンプする (例: "abc" を 0x616263)

☒ TIMESTAMP のカラムを UTC (協定世界時) でダンプする (ダンプするサーバと読み込ませるサーバのタイムゾーンが異なる場合に有効です)

エンコーディングへの変換:

☒ なし ☐ EUC ☐ SJIS

☐ 全角カナに変換する

エクスポート

■テーブル

デフォルトは全テーブルをエクスポート対象で選択している状態となっています。

任意にエクスポートしたいテーブルを指定したい場合には、テーブルごとにチェックボックスのチェックを外していただく事で個別選択が可能です。

エクスポート方法:

☐ 簡易 - 最小限のオプションだけ表示
 ☒ 詳細 - 可能なオプションをすべて表示

フォーマット:

SQL

テーブル:

☒	wplinks	☒	☒
☒	wpoptions	☒	☒
☒	wppostmeta	☒	☒
☒	wpposts	☒	☒
☒	wptermmeta	☒	☒
☒	wpterm	☒	☒
☒	wpterm_relationships	☒	☒
☒	wpterm_taxonomy	☒	☒
☒	wpusermeta	☒	☒

■出力

エクスポートする際のファイル名や文字コード等を指定する事が可能です。

出力:

☐ エクスポートされた データベース・テーブル・カラムの名前を変更
 ☒ 「LOCK TABLES」コマンドを使用する

☐ 出力をテキストで表示する
 ☒ 出力をファイルに保存する

ファイル名のテンプレート: @DATABASE@

☒ 今後のエクスポートでこれを使用する

ファイルの文字セット: utf-8

圧縮: なし

☐ テーブルを別々のファイルとしてエクスポートする

これより大きなテーブルをスキップ:

大きさは MB 単位です。

■フォーマット特有のオプション

オプションのデフォルトは以下の通りです。

「DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT / TRIGGER コマンドを追加する」が、デフォルト設定：OFF となっております。このままエクスポートしてしまいますと、インポートした際にエラーしてしまうため、ON にご変更いただきエクスポートいただきますようお願いいたします。

フォーマット特有のオプション:

☒ コメントの表示 (エクスポート日時、PHP や サーバ のバージョンなどの情報が含まれます)

ヘッダに追加する独自コメント (¥n で改行):

☐ データベースの作成日時、最終更新日時、最終検査日時を含める

☒ エクスポートをトランザクションで囲む

☐ 外部キーのチェックを無効にする

☐ ビューをテーブルとしてエクスポートする

☐ メタデータのエクスポート

他のデータベースシステムまたは古い MySQL サーバとの互換性:

NONE

生成オプション

追加コマンド:

☐ CREATE DATABASE / USE コマンドを追加する

☒ DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT / TRIGGER コマンドを追加する

☐ CREATE TABLE コマンドを追加する

☐ IF NOT EXISTS (テーブル作成中にインデックスが生成されるので、効率が悪い)

☒ AUTO_INCREMENT 値

☒ CREATE VIEW コマンドを追加する

☐ 簡易ビュー エクスポートの使用

☐ 現在のユーザの定義を除外する

☐ OR REPLACE ビュー

☒ CREATE PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する

☒ CREATE TRIGGER コマンドを追加する

☒ 逆クォートでテーブルやカラムの名前を囲む (特殊な文字やキーワードを含むカラム名やテーブル名を保護します)

ON に変更する

データ作成オプション

☐ 挿入前にテーブルを空にする

☐ INSERT DELAYED 文

☐ INSERT IGNORE 文

データをダンプするとき使うコマンド:

INSERT

データを挿入するとき使う構文:

☐ すべての INSERT 文にカラム名を含める
 例: INSERT INTO tbl_name (col_A, col_B, col_C) VALUES (1, 2, 3)

☐ すべての INSERT 文を複数行挿入で行う
 例: INSERT INTO tbl_name VALUES (1, 2, 3), (4, 5, 6), (7, 8, 9)

☒ 上の両方を行う
 例: INSERT INTO tbl_name (col_A, col_B, col_C) VALUES (1, 2, 3), (4, 5, 6), (7, 8, 9)

☐ 上のどちらでもない
 例: INSERT INTO tbl_name VALUES (1, 2, 3)

作成するクエリの最大長

50000

☒ 16 進表記でバイナリカラムをダンプする (例: "abc" を 0x616263)

☒ TIMESTAMP のカラムを UTC (協定世界時) でダンプする (ダンプするサーバと読み込ませるサーバのタイムゾーンが異なる場合に有効です)

41

エクスポートするデータ形式など、実施したい内容にあわせてオプション項目にチェックをし、「エクスポート」ボタンを押下して下さい。

エンコーディングへの変換:

☒ なし

☐ EUC

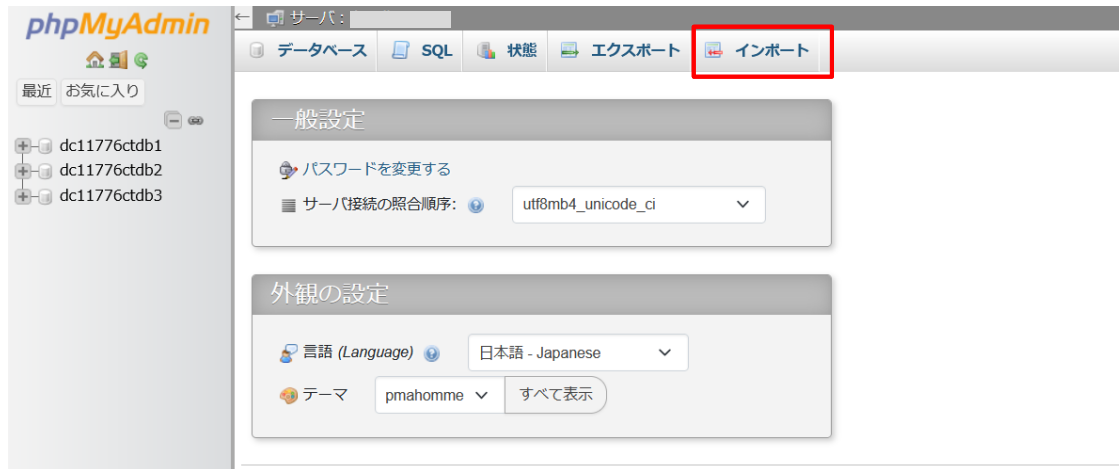
☐ SJIS

☐ 全角カナに変換する

エクスポート

8. 5 データのインポート

「インポート」のタブをクリックします。



インポートするファイルの形式など、実施したい内容にあわせて各項目にチェックをし、「実行」ボタンを押下します。

現在のサーバへのインポート

インポートするファイル:

ファイルは圧縮されていないもの、もしくは、gzip、bzip2、zip で圧縮されているもの。
圧縮ファイルの名前は、[フォーマット].[圧縮形式]で終わっていること。例: .sql.zip

アップロードファイル: (最大: 100MiB)

ファイルを任意のページにドラッグアンドドロップすることもできます。

ファイルの文字セット:

部分インポート:

☒ PHP タイムアウト制限に近づいたことをスクリプトが検出した場合にインポートを中断できるようにします。
これは、大きなファイルをインポートするのに適した方法かもしれませんが、トランザクションが壊れる可能性があります。

先頭から数えたスキップするSQLクエリの数:

その他のオプション

☒ 外部キーのチェックを有効にする

フォーマット

フォーマット特有のオプション:

SQL 互換モード:

☒ 値がゼロのものに対して AUTO_INCREMENT を使用しない

エンコーディングへの変換:

- ☒ なし ☐ EUC ☐ SJIS
- ☐ 全角カナに変換する

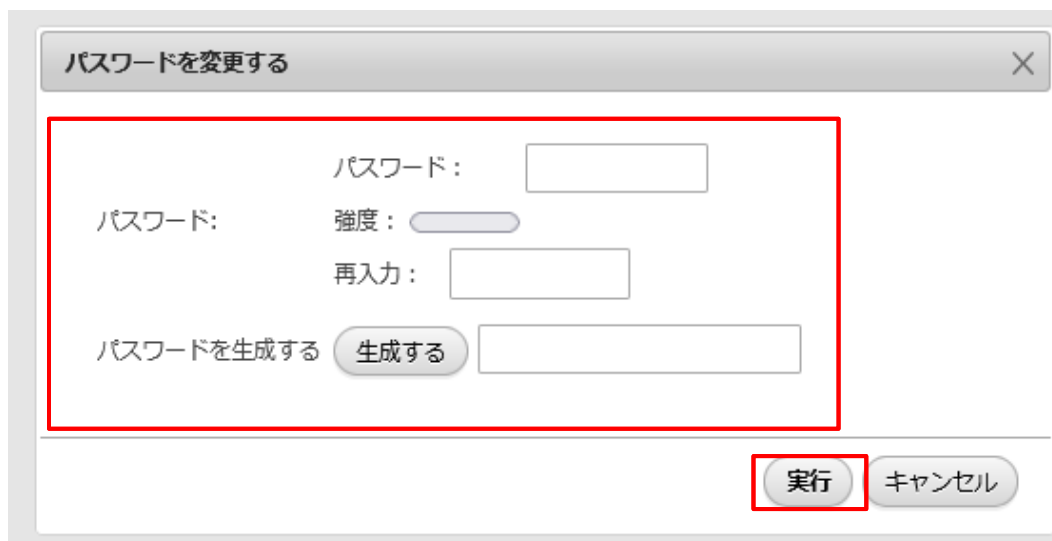
「インポートは正常に終了しました。○個のクエリを実行しました」のメッセージが表示されたら、インポートは完了となります。

8. 6 パスワード変更

DB 管理ツールへのログイン用パスワードを変更する場合にはパスワード変更をクリックします。



新しいパスワードを入力いただき、実行するボタンをクリックするとパスワードが変更となります。

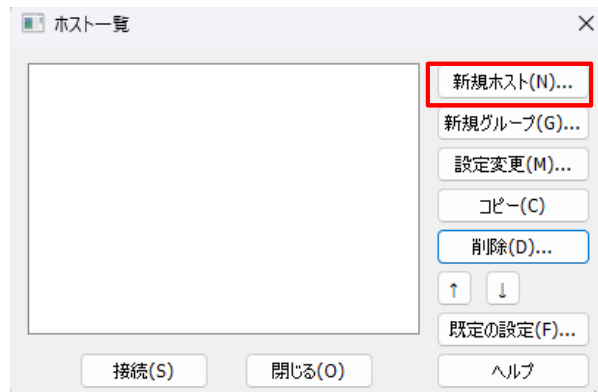


9. FTP ソフトを用いたファイル転送設定方法

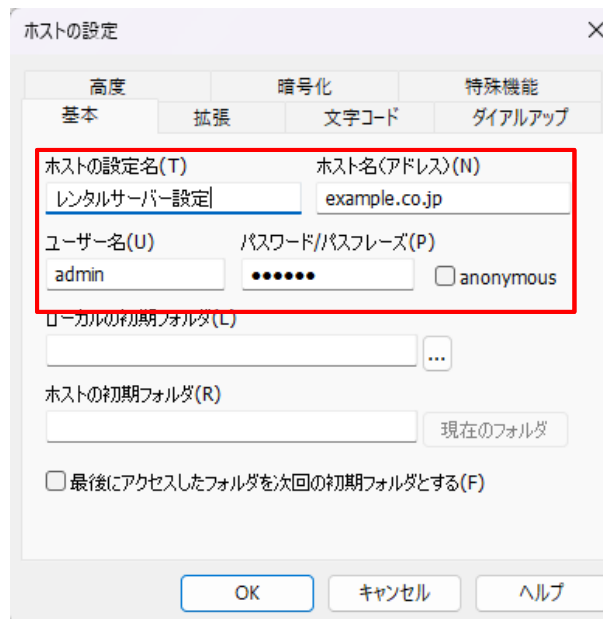
9. 1 サーバー接続方法

当マニュアルでは FFFTP ソフトを用いてサーバーへ接続する方法をご案内します。

- ① FFFTP を起動します。ホスト一覧画面が開きますので、「新規ホスト」ボタンをクリックします。



- ② ホストの設定画面が表示されます。「基本」のタブをクリックします。設定項目は下記の通りです。

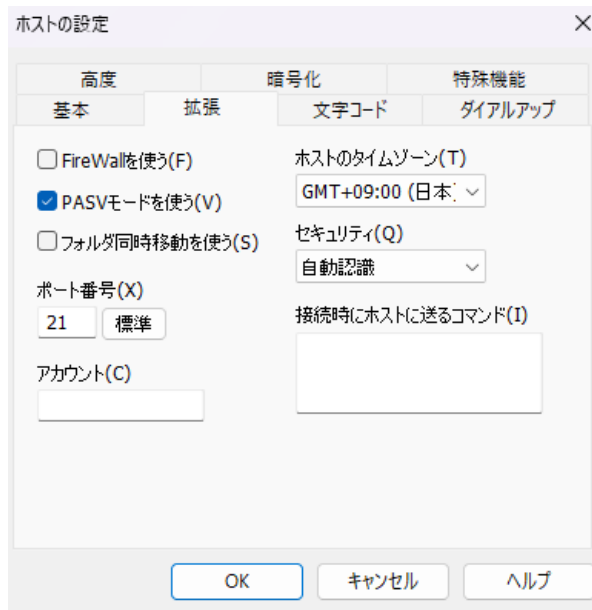


- ・ホストの設定名：任意のお名前
- ・ホスト名(アドレス)：ドメイン または IP アドレス
- ・ユーザ名：admin または Web 特権ユーザ用アカウント または Web ユーザ用アカウント
- ・パスワード/パスフレーズ：サイト管理者用(admin)パスワード または Web 特権ユーザ用パスワード
または Web ユーザ用パスワード
※anonymousFTP をご利用の場合は、anonymous ボックスをチェックして下さい。
- ・ローカルの初期フォルダ：ホームページのデータを保管している PC のフォルダを指定
- ・ホストの初期フォルダ：任意で設定(空欄でも構いません。)

設定後、「拡張」のタブをクリックします。

- ③ 拡張の設定・高度の設定項目は以下の通りです。

拡張



ホストの設定

高度	暗号化	特殊機能
基本	拡張	文字コード
☐ FireWallを使う(F) ☒ PASVモードを使う(V) ☐ フォルダ同時移動を使う(S) ポート番号(X) 21 標準 アカウント(C) 	ホストのタイムゾーン(T) GMT+09:00 (日本) ▼ セキュリティ(Q) 自動認識 ▼ 接続時にホストに送るコマンド(I) 	ダイアルアップ

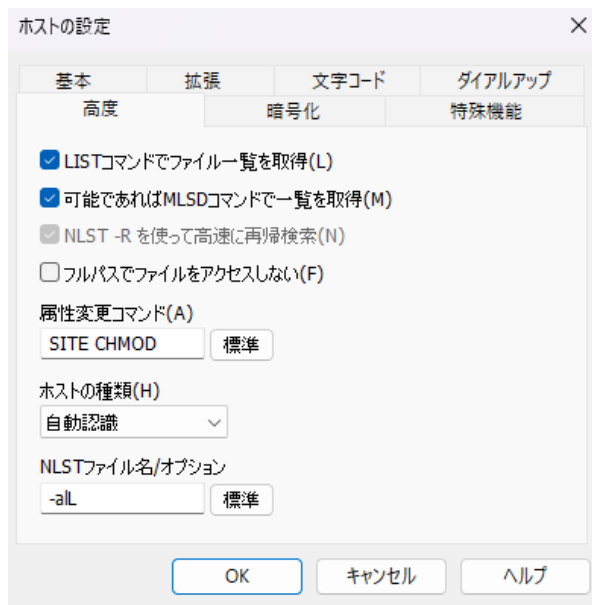
OK キャンセル ヘルプ

・PASV モードを使う：チェックを入れます。

・ポート番号：21

その他の設定項目はデフォルトのままで構いません。設定後、「高度」のタブをクリックします。

高度



ホストの設定

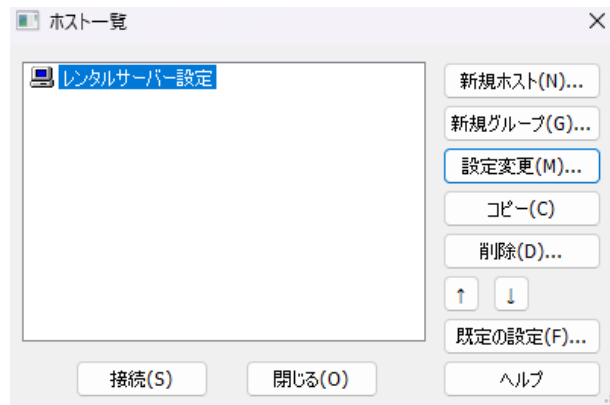
基本	拡張	文字コード	ダイアルアップ
高度	暗号化	特殊機能	
☒ LISTコマンドでファイル一覧を取得(L) ☒ 可能であればMLSDコマンドで一覧を取得(M) ☒ NLST -R を使って高速に再帰検索(N) ☐ フルパスでファイルをアクセスしない(F) 属性変更コマンド(A) SITE CHMOD 標準 ホストの種類(H) 自動認識 ▼ NLSTファイル名/オプション -all 標準			

OK キャンセル ヘルプ

・LIST コマンドでファイル一覧を取得：チェックを入れます。

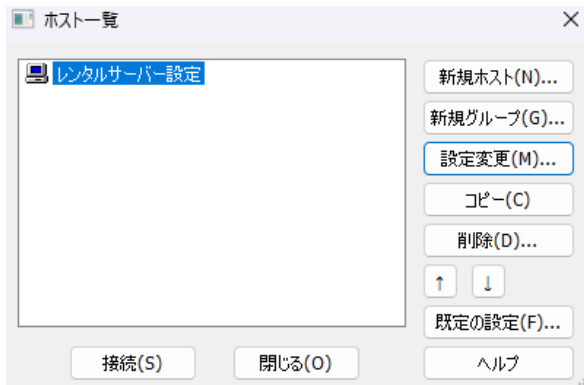
その他の設定項目はデフォルトのままで構いません。設定後、「OK」のタブをクリックします。

- ④ ホスト一覧 画面に戻ります。

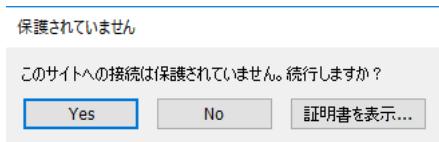


9. 2 ファイルアップロード・ダウンロード方法

FFFTP を起動します。予め、設定登録してあるホスト一覧からレンタルサーバー設定を選択し、「接続」ボタンをクリックします。

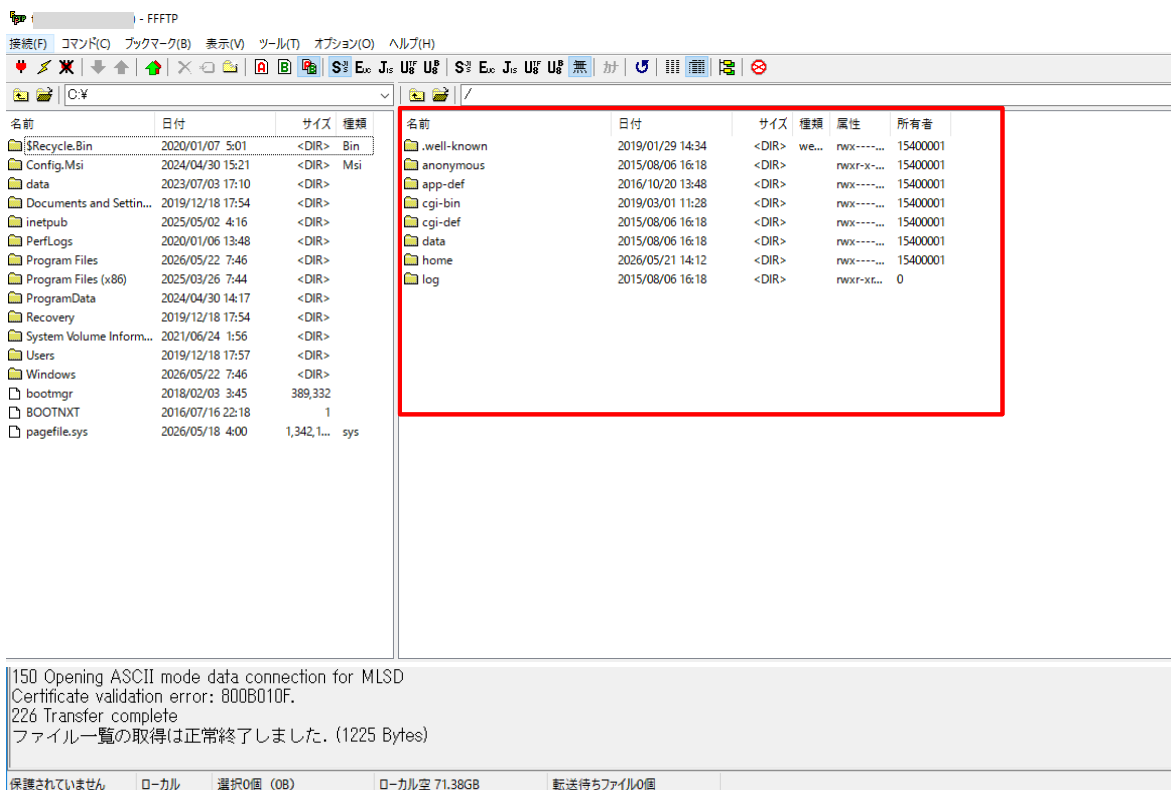


接続時毎に以下メッセージが表示されますで、「Yes」ボタンをクリックします。



以下の画面が表示されます。画面の左側がパソコン側・右側がサーバー側となります。

ファイルのアップロードにつきましては、サーバー側へドラッグアンドドロップいただければサーバーへのファイルアップロードは可能です。サーバーからのファイルのダウンロードにつきましては、該当ファイルを選択していただきいただきそのまま PC のデスクトップ等に移動していただければダウンロード可能です。



10. Web マネージャー

Web のアカウント管理は、「Web マネージャー」より行うことができます。

主な内容は以下となります。

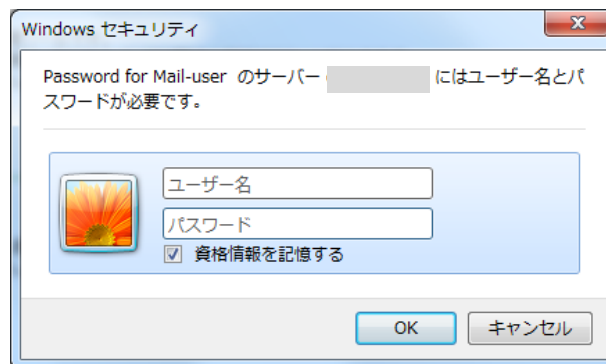
- Web ユーザのパスワード変更
- Web ユーザのディスク容量確認
- アクセス制御設定

7. 1 Web マネージャーへのログイン

「Web マネージャー」へログインします。

■ Web マネージャーへのログイン

- ① メニューから「Web マネージャー」をクリックします。



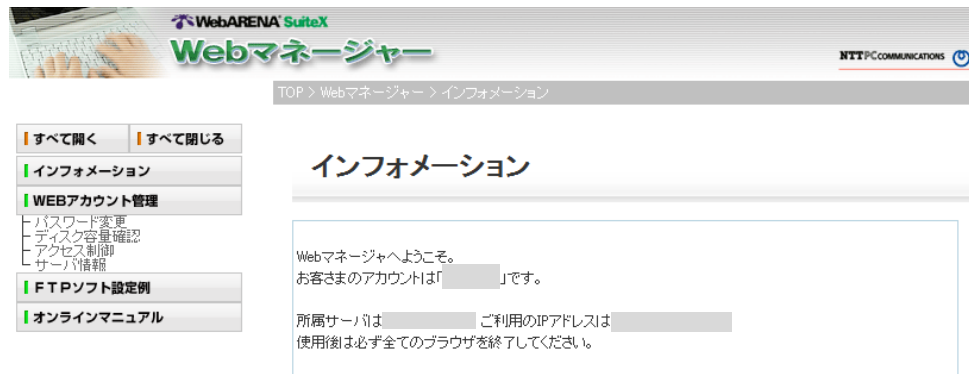
- ② 「Web マネージャー」をクリックすると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の内容を
入力してください。

ユーザ名：Web ユーザのアカウント名 パスワード：Web ユーザのパスワード

入力後、「OK」をクリックします。



- ③ 「Web マネージャー」のコントロールパネルが表示されます。



11. メールマネージャー

メールユーザのメール管理は、「メールマネージャー」より行うことができます。

主な内容は以下となります。

- メールユーザのディスク容量確認
- メールユーザのメール強制削除

11. 1 メールマネージャーへのログイン

「メールマネージャー」へログインします。

■ メールマネージャーへのログイン

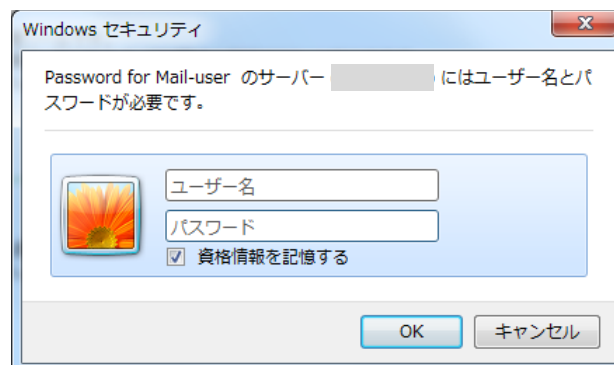
- ① メニューから「メールマネージャー」をクリックします。



- ② 「メールマネージャー」をクリックすると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の内容を入力してください。

ユーザー名：メールユーザのアカウント名 パスワード：メールユーザのパスワード

入力後、「OK」をクリックします。



- ③ 「メールマネージャー」のコントロールパネルが表示されます。

